

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 24-011

PDCA	事務事業名	公園整備・改修事業	部課等名	建設部 都市計画課 公園 緑地担当	担当	桑山	
					内線等	448	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第3節 うるおい空間の形成 基本施策： 1. 公園・緑化・親水空間 単位施策： (1) 公園・緑地の整備 個別施策： ②既設公園の改修					
	根拠法令等	都市計画法					
	対象・目的	公園緑地において、利用者が安全かつ快適に利用できるように、公園施設の整備・改修を行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	【公園等整備工事】30年度：乙川白山公園（展望台撤去工事） 1年度：任坊山公園（ちゃぶちやぶ池改修） 2年度：雁宿公園始め5公園（スロープの新設、トイレ等の施設改修） 【遊具改修】30年度：みなと公園始め23公園に28基改修 1年度：にぎり池公園始め18公園に27基改修 2年度：雁宿公園始め16公園に19基改修					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①遊具の改修工事実施数	28	27	19	基	
		②トイレの改修工事実施数	-	-	3	基	
		事業費	50,732	46,652	88,099	千円	
		人件費	8,120	8,073	6,789	千円	
		総事業費	58,852	54,725	94,888	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	1基当たりの改修費用	988	1,082	1,673	千円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①遊具の改修工事実施数	実績値	28	27	19	基
			目標値	28	27	19	
		②トイレの改修工事実施数	実績値	-	-	3	基
			目標値	-	-	3	
			実績値				
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		雁宿公園については、高齢者、障がい者等に配慮して南エリアの西側にスロープを設置した。また、池下公園については、老朽化したトイレの改修を実施し、公園利用者の利便性を図ることができた。遊具改修については、遊具の選定の際、アンケート調査を行い利用者である地域の子供たちの意見を反映することができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進 遊具については、職員のパトロールによる危険箇所の発見や、専門業者による点検により状況を把握し、適正な管理により、利用者の安全確保に努める。また、利用者が快適に利用できるように、トイレ等の公園施設の改修を進めていく。				
令和3年度の目標		成果指標	目標値	単位			
		①公園施設の改修工事実施数	25	件			
		②トイレの改修工事実施数	1	件			
		③遊具の改修工事実施数	31	件			